

市町村制度融資担当者に聞く

中小企業の未来をひらく

千代田町
CHIYODA TOWN

制度融資

地方創生の流れの中で、地域経済において市町村が果たす役割が、これまで以上に大きくなってきています。本連載では、群馬県内各市町村の、制度融資担当者に登場していただき、制度融資を中心に、中小企業施策全般について、考え方や方向性、具体的な施策等をお伺いします。
今回は、千代田町経済課を訪れ、橋本課長補佐、山邊主事にお話を聞いてきました。



GUEST

橋本光弘 様

経済課
課長補佐

山邊悠以 様

経済課
主事



経済課・農業委員会の皆さま

上段左から、吉永さん、山下係長、遠藤主任
手塚主事、坂巻主事

下段左から、山邊主事、荒井課長、橋本課長補佐
松本さん

Q. 中小企業施策の基本的コンセプト・考え方等をお教えてください。

千代田町は群馬県の南東部、「鶴舞う形」の首の部分に位置し、利根川中流域の左岸に沿って東西に細長く延びた平坦地で、水と緑の豊かな町です。田園風景が広がる町の北西部には総面積約100haの植木畑が広がっています。植木の生産量・流通量が多く、全国的に「植木の里」として知られています。利根川がもたらす豊富な水を利用した稲作やビール麦などの米麦作を中心とした農業と、2つの工業団地を核とする工業、平成23年にオープンした大型ホームセンターなどを中心とする商業があり、農業・商業・工業の調和のとれた町として発展しています。

利根川河岸には赤岩渡船場があります。この渡船は千代田町赤岩から利根川を挟んで埼玉県熊谷市葛和田を動力船で結んでいる主要地方道（県道）熊谷・館林線にある橋のない公道で、年間2万人を超える方々に利用されています。赤岩渡船の歴史は古く、戦国時代、上杉謙信の文献にも登場し、江戸時代には年貢米や木材、塩を輸送する河岸場として設置されました。今も昔ながらの風情を伝えながら約400mの川幅を約5分かけて進みます。

また、毎年8月18日には「千代田の祭 川せがき」が開催され、およそ5万人の方が訪れます。僧侶の読経と灯ろう流しを中心に、打ち上げ花火、民踊流し等の催しが行われます。

最近では、穏やかな流域の水面を活用した水上オートバイやウインドサーフィンなど水上スポーツのメッカとして、県内外から多くのレジャー客で賑わいを見せています。また、渡船の下流には東京近郊に豊富な水を供給するための利根大堰があり、堰の魚道脇に併設されている大堰自然の観察室では春にはアユ、秋にはサケの遡上を見ることができます。

町としては、これらの観光資源を利活用し、入込客の増加を図り、市場の拡大に取り組むことで、商工業事業者の事業継承問題の解消と活性化に繋げていければと考えています。また、中小企業施策としては制度融資の他、労働人口が減少傾向にある中、労働力、特に女性就労者の確保に向けた取り組みや新商品・新製品の開発による新たなビジネスの構築を図っていきたくと考えています。

Q. 中小企業向け制度融資メニューをお教えてください。

千代田町では、金融機関の協力を得て町内の中小企業者の経営の安定と振興を図るため、設備資金、運転資金の制度融資メニューを揃えています。制度融資の種類としては一般小口資金と特別小口資金の2種類があり、融資限度額は共に1,250万円となっています。融資期間は、

設備資金8年以内、運転資金6年以内で、措置期間は共に6か月以内です。融資利率は1.8%となっています。

主な制度融資の保証実績 (単位:件、千円)

制度名	年度	保証承諾		保証債務残高	
		件数	金額	件数	金額
小口資金	29年度	5	34,330	15	87,404
	30年11月末	1	7,560	10	62,630

Q. 制度融資以外の、中小企業や創業者向けの施策を教えてください。

新商品研究開発支援補助金

産業振興や地域振興のために、町の地域性を活かしたオリジナル商品の開発に取り組む中小企業者に対し、その研究開発に必要な経費の80%以内または30万円以内を補助しています。

住宅リフォーム補助金

建築関連産業を中心とした地域経済の活性化と住環境の質の向上を図るため、町内施工業者により住宅リフォームを行った町民に対し、経費の10%（限度額20万円）を補助しています。

6次産業化推進事業補助金

農業振興及び地域活性化のために群馬県6次産業化サポートセンターを活用しながら、地元の農作物を取り入れた新商品の開発費用の1/2以内（限度額300万円）を補助しています。

Q. 今後の中小企業施策や制度融資に対する思いを教えてください。

千代田町の人口は10年ほど前から緩やかな減少傾向にあり、町人口ビジョンの推計値では、西暦2060年頃には1万人を割り込むと見込んでいます。そのようなことから、定住促進に向けた取組みとして、ふれあいタウンちよだの分譲を始め、千代田第二工業団地（平成32年分譲予定）の造成や既存商業用地への大型店の誘致を図っています。

また、町の活性化と町内中小企業者の事業継続と発展が必要不可欠であることから、創業希望者や中小企業者向けの補助制度を設け、制度融資も中小企業者が利用しやすい内容に改正することも必要と考えます。そのためにも信用保証協会、商工会、金融機関等の関係団体との連携を強化し、中小企業への支援を行っていきたくと思っています。